

①対話でつながる・挑戦が生まれる・“ひと”が育つまちづくり（益田市）

社会教育の専門性を、こんな課題に…

- # 関係人口を増やしたい（人口流出を阻止したい）
- # いろいろな人たちを地域の活動にまきこみたい
- # 地域の「ひと・もの・こと」と連携して教育課程を豊かにしたい

取組のポイント

- ①“ひとづくり”を市の施策の中心に据え、**社会教育課長**（社会教育主事経験者・教員籍）を「**ひとづくり推進監**」に任命。連携・協働体制を整備した。
- ②地域の担い手となる子供たちを育てるために、**地域の人々との対話・交流を重視**した「**ライフキャリア教育**」を推進。公民館や企業・事業所とも連携し、多くの大人たちが参加するシステムを社会教育主事たちがつくりだした。

取組の様子 ・ 成果等

- ・首長各部局や企業、NPO等多様な主体がライフキャリア教育に参画。
- ・ライフキャリア教育の継続により、**子供たちの地域に対する意識が大きく向上**。
- ・関わる**大人たちも成長**し、子供たちの意識の向上に還元。さらに、**社会総がかりで子供たちを育む意識**にもつながった。

“ひとづくり”を核とした部局間連携とライフキャリア教育（島根県益田市）

社会教育主事の配置状況等

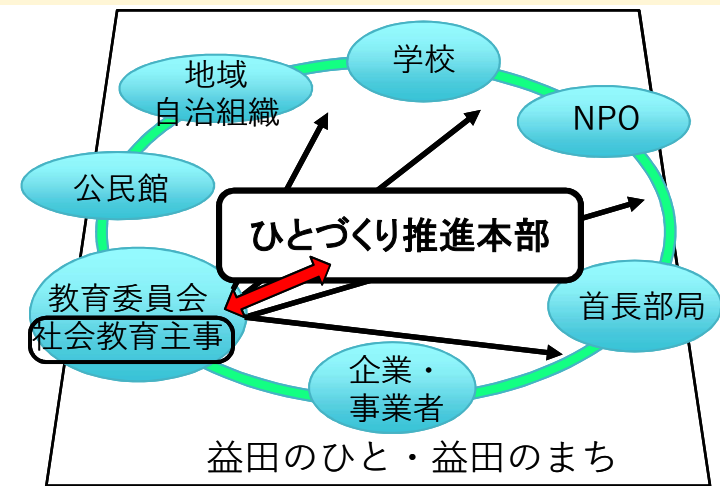
島根県益田市：人口約46,000人
2019年度は社会教育主事を4名に発令。
(うち2名は県からの派遣社会教育主事)
公民館にも有資格者が在籍しており、社会教育主事講習の受講が促されている。

取組の概要と特長

地域の持続的な発展を支えるために「しごと」「地域づくり」「未来」の担い手育成を目指す「ひとづくり協働構想」を制定して市長・副市長・各部長等からなる推進本部を組織。部局・教委・学校を結んだ活動とするためにひとづくり推進監に任命された**社会教育課長（社会教育主事経験者）**と**社会教育主事を中心として「ライフキャリア教育」等を展開**。子供と地域住民双方の**地元への意識の変容につながった**。

「ひとづくり協働構想」

地域の持続的な発展を支えるための「ひとづくり」を主軸に据えた**地域振興施策**。子育て環境の整備や働く場の確保、教育の充実等により、若者がUターンやIターンし、定着したくなるような魅力的な地域づくりを進めるとともに、益田で働きたい・起業したい・地域を元気にしたいという意欲ある若者を増やし、産業・地域の担い手として育成することをめざす。
同構想の実施にあたり**市行政だけでなく、教育機関、事業者、民間団体など、幅広い主体が連携・協働する体制の整備を重視**した。



ライフキャリア教育と成果

「どこに進学・就職するか」だけでなく、どんな環境でも“生き抜く力”を身につけるとともに**将来にわたって益田と関わる種まき**をする。子供が多様な自己実現のあり方に目を向け広い視野で自分の人生を考えるために**地域の人々との対話と交流を重視**。「益田版カタリ場」や「新・職業体験」などの活動を通じて、地域の人々や異校種との交流を重ね、**地域の担い手として子供たちを育てていくとともに、ロールモデルとなる大人自身も成長**していく。

益田版カタリ場：

小学生と高校生、中学生と地域活動を進める大人、高校生と地元企業の社員らが本音で語り合うことを通し、子供たちが「どんな大人になりたいか」を考える授業。



語る大人たちは市職員が研修として参加するほか、市内企業からの派遣や**公民館からの紹介**をもとに募集。**大人自身の成長の場や地域人材の発掘にもつながっている**。

2019年度は市内12小学校、8中学校、2高校で実施のべ254人の地域の大人と540人の中高生による対話のべ219人の高校生と422人の小学生による対話

カタリ場を受けていない世代と受けた世代の成人者へのアンケート調査の結果

- (1) 「益田市には魅力的な大人が多い」と答えた割合
2018年度成人式（カタリ場を受けていない世代）51% → 2019年度成人式（カタリ場を受けた世代）**70%**
- (2) 「将来、益田に住みたい」と答えた割合
2018年度成人式（カタリ場を受けていない世代）50% → 2019年度成人式（カタリ場を受けた世代）**69%**